

各製品の特徴や注意点をわかりやすく解説！ 化粧品微生物対策の技術指導書！

Q&A 122

化粧品の微生物試験 ガイドブック **製品編**

～防腐設計、製造工程管理から出荷検査、クレーム対策まで～

著：浅賀 良雄（微生物技術アドバイザー）

微生物対策のノウハウをQ&Aや事例を交えてわかりやすく解説した「Q&A181化粧品の微生物試験ガイドブック」(2019年5月発行)の第2弾。

今版は『**製品編**』として、シャンプー・リンス、メイクアップ製品、洗顔料などの製品ごとに、製造工程での微生物一次汚染対策や製品出荷前の特定菌検査、製品クレームが起きた場合の対応方法について詳しく解説。

さらに、各製品の特徴や注意点、製品独自の解析法や防腐剤の組み合わせ、試験法を説明している。



A5判 / 約260頁 / 定価3,300円
(本体3,000円 + 税10%)

- 収録内容 - contents

- 第1章 各種化粧品の防腐技術の基本
- 第2章 防腐設計、衛生管理、製品試験の基本
- 第3章 シャンプー類
- 第4章 リンス類
- 第5章 メイクアップ洗浄料、ボディ洗浄料
- 第6章 アイライナー、マスカラ
- 第7章 粉末化粧品
- 第8章 口紅、鉛筆、オイル製品
- 第9章 液状口紅
- 第10章 オーガニック化粧品
- 第11章 不織布マスク製品など
- 第12章 試験設備などの課題に関するQ&A



「Q&A181
化粧品の微生物試験
ガイドブック」

第6章

アイライナー、マスカラ

1 防腐設計の基本

アイライナーやマスカラは目の周辺やまつげに塗布具を使って塗るもので、眼というデリケートな部位の粘膜辺りに長時間付着することなどから他の化粧品よりも厳しい安全性が求められる。他の化粧品と異なる特徴的な使われ方は、塗布具が製品中身の入った容器と一体となっていて「使わないときでも塗布具が中身に浸漬した状態にあり、使用中には塗布具を介して中身と皮膚などの塗布部位が何度も接触を繰り返す」という使われ方である。塗布具が皮膚と中身の間を何度も行き来するため皮膚上にいる菌が大量に中身に運ばれる。このような動作によって皮膚上のいろいろな菌が中身に混入し

- 防腐設計・保存効力試験・衛生管理・製品試験の基本、汚染事故が起こったときの対応を製品ごとに解説。
- クリーンベンチなどの機器類導入にあたっての考え方についても解説。

第6章のQ&A

Q80

培地となじまない製品（ペンシルアイライナー、油性マスカラ）では菌の回収が難しいとのことだが、このような製品で目の周辺のかぶれなどのクレームがあった場合、製品の微生物試験をしても意味がないのか。

A

培地となじまない製品（中身）と目の周辺のかぶれなどは関係が少ない。中身よりも塗布具と塗布具の使い方（擦る力）を見直す必要がある。

油性製品の場合は水性製品よりも粘度が高く「塗りにくい」こともあり、使用者が「強く擦る」傾向があることから、目の周囲を刺激してかぶれなどにつながることもある。油性原料でも一部の原料は刺激になる場合があるので、念のため顧客の使い方を調べた方が

- 実際に寄せられた製品ごとの質問に、多くの事例や筆者の経験を交えて詳しく回答。「Q&A形式」で全122問掲載している。

-著者紹介-

浅賀 良雄

微生物技術アドバイザー

株式会社資生堂研究所で微生物関連業務に長年従事し、退職後はコンサルタントとして化粧品メーカーへの技術指導や講演活動を行っている。元日本化粧品工業連合会微生物専門委員長。元 ISO/TC217(化粧品)日本代表委員。

詳細はコチラです→



【申込書】

年 月 日

ISBN:978-4-8408-1549-9	Q&A122 化粧品の微生物試験ガイドブック 製品編	定価3,300円 (本体3,000円+税10%)	申込冊数 冊
ISBN:978-4-8408-1492-8	Q&A181 化粧品の微生物試験ガイドブック	定価3,300円 (本体3,000円+税10%)	申込冊数 冊

ご送付先住所 〒		書店様番線印(書店申込)	
貴施設・貴社名	部署名		
ご担当者名	お電話番号		

- 書店へのご注文は冊数をご記入の上、お近くの書店にお申込み下さい。
- 弊社に直接ご注文の場合には必要事項をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。
- 別途送料(国内1箇所送付につき550円、重量が5kgを超えた場合は850円)を頂戴します。

薬事日報社行きFAX
⇒ 03-3866-8408